



第11回

★道の駅制定30周年記念開催★ 全国「道の駅」シンポジウム in 宇佐

U S A



～地域価値（ブランド）を高める道の駅の役割とは～

宇佐市宇佐文化会館・ウサノピア ※オンラインでも視聴いただけます

道の駅制度 30 周年をむかえ、「第 3 ステージ『地方創生・観光を加速する拠点』」をテーマに進展しており、多くの道の駅が誕生し、制度・機能も進化しているが、道の駅自体には課題（老朽化、安定運営）があり、また、地域の課題（地域活性化等）もある。本シンポジウムでは、多様性を生かし、持続可能な地域全体の発展、道の駅の安定運営を果たすべく、どのような取り組みを行っていくべきかにあたって、その方策を皆で考え、議論することを目的に開催します。

■プログラム

13:30 開会式

挨拶：シンポジウム実行委員会委員長
宇佐市長 是永 修治

祝辞：大分県知事 佐藤 樹一郎

13:50 基調講演

テーマ：地方創生における「道の駅」
第3ステージでの役割や貢献

講演者：宮崎大学 地域資源創成学部
教授 熊野 稔

15:20 パネルディスカッション

テーマ：地方創生の起点となる「道の駅」
～持続可能な地域づくりには、
道の駅はどうあるべきか～

コーディネーター：

国土交通省道路局企画課 評価室長
廣瀬 健二郎

パネリスト：宮崎県 都城市長

(50音順) 池田 宜永

道守大分会議 代表世話人/
一般社団法人由布市まちづくり観光局 代表理事
桑野 和泉

株式会社ゼンリン 九州支社長
古賀 寛人

道の駅「みえ」 駅長/大分県駅長会会長
後藤 節子

道の駅「阿蘇」 駅長/
九州・沖縄「道の駅」連絡会駅長会会長
下城 卓也

17:00 宣言

17:30 閉会

■基調講演



熊野 稔

宮崎大学 地域資源創成学部
教授

専門分野は、「地域都市計画・環境デザイン」。総務省地域力創造アドバイザーとして地域づくり現場で様々な支援を行っていると共に、道の駅の計画、設計及び防災支援の改善計画、マネジメントに関する研究を行う等、地域や道の駅の課題解決に尽力されている。2023年度から国土交通省の防災道の駅社会実験も担当している。また、九州沖縄道の駅連絡会の顧問として、「道の駅」の発展に貢献されている。

■コーディネーター



廣瀬 健二郎

国土交通省道路局企画課
評価室長

北海道小樽市出身。東北地方整備局山形河川国道事務所長などを歴任し、令和5年7月より現職。今年30周年を迎えた「道の駅」について、道路局における施策全体の責任者。現在、道の駅「第3ステージ」のコンセプトである『地方創生・観光を加速する拠点』の実現を目指し、道の駅の発展に取り組まれている。

■パネリスト (50音順)



池田 宜永
宮崎県 都城市長



桑野 和泉
道守大分会議 代表世話人
一般社団法人由布市
まちづくり観光局 代表理事



古賀 寛人
株式会社ゼンリン
九州支社長



後藤 節子
道の駅「みえ」 駅長
大分県駅長会会長



下城 卓也
道の駅「阿蘇」 駅長
九州・沖縄「道の駅」連絡会駅長会会長